地域医療支援病院業務報告要旨

l 概要

病院名	フリガナ	オカヤマサイセイカイソウコ゜ウヒ゜ョウイン	
7内队石		岡山済生会総合病院	
所在地		岡山市北区国体町2-25	
管理者氏名		病院長 塩出 純二	
承認年月日		平成24年5月25日	
業務報告書提出日		令和6年9月27日	

Ⅱ業務報告

対象期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日

1紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率50%超、逆紹介率70%超	
紹介率	①/ (②- (③+④+⑤)) ×100	54.4 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	1,837 人
	②初診患者数	9,904 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する	
	救急自動車により搬入された患者の数	2,764 人
	(初診に限る)	
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数	3,767 人
	(初診に限る)	3,707
	⑤健康診断を目的とする受診により、治	
	療の必要性を認めて治療を開始した患者	0 人
	の数(初診に限る)	
逆紹介率	⑦/ (②- (③+④+⑤))×100	232.4 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	7,840 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	1,573件
共同利用病床数	8床
共同利用病床利用率	25.2%
	開放病床、大型医療機器(CT、MRI、RI)、図書館、会議
共同利用施設・設備	室・カンファレンス室、電子カルテ(なでしこネット、晴れ
	やかネット、疾病統計等)
登録医療機関数	157機関

3 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	4 ,542人(1,991人)
救急搬送以外の救急患者数	11,701人(2,326人)
合計(うち初診患者数)	16,243人(4,317人)

※括弧内は、入院を要した患者数

(2) 救急医療圏 (2次医療圏) 人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	
(初診患者のみ)	^
B:救急医療圏 (2次医療圏) 人口※	人
C: A/B×1000> 2	(小数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における市区町村人口の総和)を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

4地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	専門的治療戦略から在宅推進活動に関する研修を開催(病診連携研修会(5回開			
10 1 1 2 - 5 L 1 D	催)、感染対策合同カンファレンス(4回開催))			
地域の医療従事者への実施回数			9回	
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数			318人	
研修体制	研修プログラムの有無	有		
	研修委員会の設置の有無	有		
	研修指導者数		89人	
研修施設	さいゆうホールA、B、C、管理	建棟4階第1会議室、第2会議室、第3会	議室、第4会	
	議室			

5診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	病院長			
管理担当者	総務課長			
診療に関する諸記録の保管場所		総務課、情報システム管理課及び医学資料室		
	共同利用の実績	地域医療連携室		
病院の管理及び運営	救急医療の提供の実績	総務課		
に関する諸記録の保	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療連携室		
管場所	閲覧実績	地域医療連携室		
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室		

6診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長			
閲覧担当者	地域医療連携室長			
閲覧に応じる場所	患者サポートセンター内 地域医療連携室			
前年度の総閲覧件数			0件	
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を	医師	0件	
	紹介しようとする	歯科医師	0件	
	地方公共団体		0件	
	その他		0件	

7委員会の開催実績

委員会の開催回数	4 回
委員会の開催回数	①令和5年6月22日 ・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告・岡山済生会病院公式LINE登録について②令和5年9月21日・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告・済生会フェアの開催について③令和5年12月21日・紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告・脳神経外科の診療体制について・北消防署の救急車の体制について・北消防署の救急車の体制について
	紹介率・逆紹介率の推移、高額医療機器共同利用状況、開放病床利用状況、救急搬送患者の受入状況、主な主催研修会内容、退院調整部門の活動状況、地域連携クリティカルパス運用実績、地域広報活動の報告 ・岡山済生会子どもメディカルラリーの開催について

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、患者サポートセンター	
主たる相談対応者	9名(看護師、薬剤師、事務、社会福祉士、臨床検査技師、放射線技師、	
	臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士)	
相談件数		16,950件

①経済的な問題に関する社会資源の情報提供:高額療養費制度の説明、指定難病の 説明、障害者手帳、自立支援医療の説明や傷害年金申請支援、生活保護申請支援、 無低事業の説明、申請

②介護・療養上の問題、退院調整(退院、転院):介護保険の説明、申請代行、在 宅生活の支援(ケアマネの確保、訪問看護ステーション、かかりつけ医等との連 携、カンファレンス開催)、転院、施設の情報提供・調整

相談の概要

③後見、遺言等に関する相談:金銭管理等後見制度の説明・申請の支援、公正証書 等に関する情報提供

④患者、家族が抱える問題に対する相談:心理・情緒的な相談 等

⑤診療に関する相談:診療科受診、セカンドオピニオン、がん相談、治療・検査に 関すること

⑥退院支援・退院調整に関する相談全般

⑦苦情に関する相談:治療・職員の接遇 等

9地域医療支援病院に求められるその他の取組(任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有
評価を行った機関名、評価を 受けた時期	日本医療機能評価機構 一般病院	2(2015年9月18日認定)

注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有
情報発信の方法、内容等の概要	病気の知識、最新治療法、医療福け健康セミナーの案内や開催報告院患者に配付、外来待合に配置し②医療機関向け広報誌『CORE情作成し県内中心に約500の医療・紹介、新しい医療機器の紹介、専発信。 ③ホームページの更新 ④SNSサービスを活用して健康教	京記:2か月に1回発刊、1回3,700部。 京祉制度等をわかりやすく解説、市民向 活、連携医療機関の情報なども掲載。入 持ち帰り自由。地域町内会に配布回覧 報』:毎月発刊。地域医療連携室にて 福祉施設や医師会へ送信。新任医師の 専門医療の紹介等当院の医療機能情報を な室の案内やホームページの記事紹介 まにSNSを活用した情報発信を行ってい

(3)退院調整部門

退院調整部門の有無		有
	①医師、退院調整看護師、管理第	養士、理学療法士、MSW、病床管理
	事務等で構成された退院調整チ-	-ムを2011年に構成。
	②入院時に24時間以内に入院患者	音全員をスクリーニングを行い、退院困
	難な患者を抽出し、7日以内に患	者家族と面談、他職種が集まったカン
退院調整部門の有無概要	ファレンスを開催	
	③患者・家族の意向に沿った退防	記支援計画の作成
	④退院後も支援が必要な患者には	は、介護保険の説明、代行申請、ケアマ
	ネージャー・訪問看護ステーショ	コン、往診医等の確保を行い情報の共有
	をして安心して自宅に帰れるよう	支援

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	-	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容地域連携クリティカルパスを 普及させるための取組	共通)、脳卒中(一方向、県南東統一、作成部会担当・・・肝、胃中心) ②地域連携クリティカルパスを普・入院患者リスト、手術患者リス象患者であることを伝達。協力医	3・転子部骨折(一方向、県南東部地域 部地域共通)、5がん(双方向、県内 引、大腸)、骨粗鬆症(双方向、婦人科

病院名

岡山済生会総合病院